

令和7年9月

令和7年度9月補正予算案

補正後予算

5,280 億円

9月補正予算額（一般会計）

59 億円

通常補正等

24 億円

- 通常補正 : 16 億円
- 災害対策 : 8 億円

財政的な補正

35 億円

- 決算剰余金の積立て : 30 億円
- 国庫事業の精算 : 5 億円

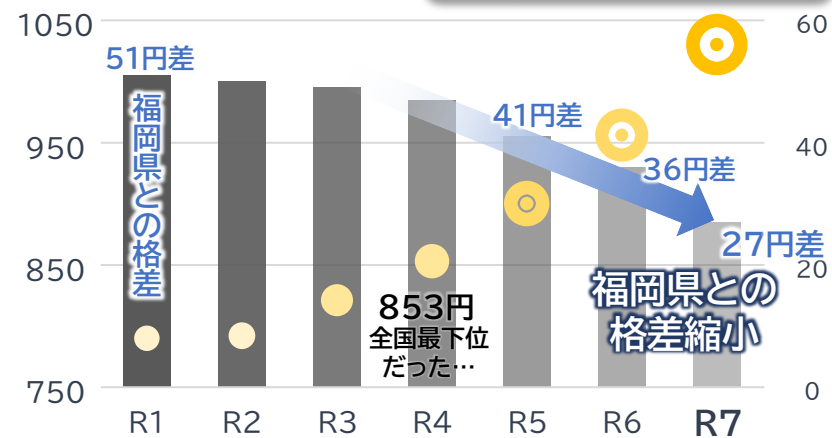
第5弾! NEXT賃金UPプロジェクト + 持続的成長の支援

令和7年度9月補正予算案

佐賀県の最低賃金

956円から74円UP

1,030円に



佐賀	福岡	山口	...	神奈川	東京
1,030円	1,057円	1,043円	...	1,225円	1,226円

27円

14円

1円

賃金UP支援チーム

関係機関が結集し、県・国補助金の紹介申請事務のサポート課題解決に向けた支援



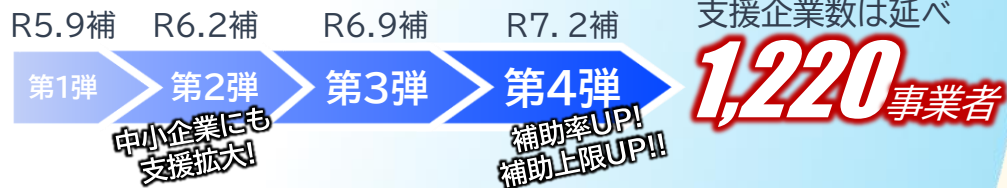
佐賀型賃金UP支援チーム

etc

などを実施

持続的な賃上げのため

これまで県は企業の生産性向上を支援



第5弾! NEXT賃金UPプロジェクト

中小企業向け

生産性向上を支援
上限：400万円

賃上げ率で補助率最大3/4



AIカメラ導入で生産効率UP

設備導入で新サービスを提供

従業員がいない事業者にも

生産性向上を支援
上限：120万円

補助率2/3

2.5億円

さらに

多様な人材確保を支援

職場の環境整備補助金

休憩室、社員寮、洋式トイレの整備等を支援
上限：200万円



女性専用更衣室の設置

補助率2/3

業種別にも

物流問題対策補助金

物流効率化や人材確保を支援
上限：200万円



補助率2/3

電動リフト

障害福祉事業所向け補助金

生産性向上を支援、工賃UP促進
上限：50万円



補助率10/10

商店街・業界団体向け補助金

プレミアム商品券発行を支援
上限：2,000万円



補助率10/10

賃上げ・成長を支援し県内経済の好循環をつくりだす

新規

陶土価格高騰緊急支援事業

4,800 万円

長い歴史と伝統を誇る、佐賀県の陶磁器産業

製造から販売までのサプライチェーンを県内で形成

陶石供給
(県外)



陶土製造



生地製造



窯元



専門商社



陶土購入事業者

陶土価格も上昇

R7.8月～

原料となる
陶石価格の
大幅値上げ

25%上昇

※今後もさらに値上げの見込み

・陶土は、陶磁器産業サプライチェーンの上流を担うインフラ的役割

・佐賀県の伝統産業である陶磁器業界が事業継続の危機

陶土を購入する事業者には

陶磁器産業を支えるための緊急支援

・陶土価格高騰分の支援
(激変緩和として値上げ相当分)

+

さらにセットで実施。陶土製造事業者を含め対象

物価高騰に負けない基盤強化支援

・生産性向上の取組の支援



・施設、設備の長寿命化計画策定

⇒ 維持管理コストの削減、計画的な投資へ

・価格転嫁に向けた専門家派遣(継続事業)



佐賀が誇る陶磁器産業を未来につないでいく

値上げ
相当分

値上げ分

従来
価格

8/1
以降
価格

補助率
2/3

新規

佐賀酒・酒米応援緊急パッケージ

7,600 万円

The SAGA

佐賀酒の礎

江戸末期 鍋島直正公が
米の高付加価値政策として酒造りを推奨

酒米生産を取り巻く環境に変化が...

従来は主食用米と比べて

生産

難

草丈が高く倒れやすい
米粒が割れやすい
収穫量・品質が不安定

収穫量

低

面積当たり
販売額

高

しかし、米価高騰により...

(面積当たり販売額)

主食用米との
価格差が逆転

酒米

主食用米

酒米

主食用米

R5年産

R7年産

その結果

主食用米への
作付け転換が進んでいる

- ・酒米生産量の減
- ・佐賀酒の品質と価値を支える
県産酒米、他で代わりがきかない
- ・原料不足

佐賀酒の
危機

そこで

新規

1

酒米農家に

- ・応援金を交付し、酒米生産を支援
(主食用米との販売額の価格差相当)
- ・佐賀酒の守り手認定制度(仮)を創設

継続

3

県内蔵元に

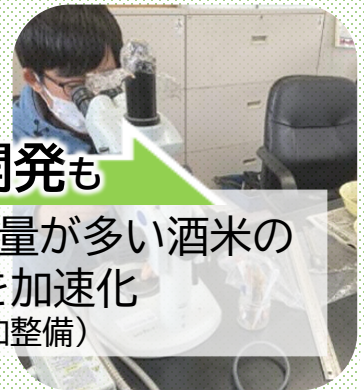
- ・酒米の価格高騰分を支援中

加速化

2

品種開発も

- ・高温に強く収量が多い酒米の
新品種開発を加速化
(試験機器の追加整備)



酒米の安定生産を図り、佐賀酒を守りたい

良質な米
豊かな水R3
九州初

県産日本酒「GI佐賀」登録

佐賀の大切な文化
世界に誇る伝統産業
佐賀酒

新規

ツール・ド・九州2026開催準備事業

1,600万円

九州地域戦略会議(九州の経済団体トップと知事で構成)発

ラグビーワールドカップ
レガシー継承九州のサイクル
ツーリズムの推進自然災害からの
復興の象徴

UCI(国際自転車競技連合)公認

国際自転車ロードレース

観客数 約10万人 経済効果 約27億円

第2回(2024年)実績 ※日本政策投資銀行 推計値

第1回(2023)

Day1福岡, Day2熊本, Day3大分

第2回(2024)

Day1大分, Day2熊本, Day3福岡

第3回(2025)

Day1福岡, Day2熊本, Day3宮崎・大分共催

第4回 2026年 10月

佐賀県 初開催 へ向け

地元説明会、機運醸成など開催準備を実施

写真提供: ツール・ド・九州2024実行委員会

本物の地域資源にあふれた「唐津」を世界へ発信!

ツール・ド・九州 × ルート・グランブルー

コース
検討中

選手、観客にルート・グランブルーの素晴らしさを届ける

新規

世界の文化創造拠点ARITAプロジェクト

令和7年度9月補正予算案

8月29日
採択!

国庫※
2/3

R7-R11: 12億円(概算)

R7: 4,200万円

※文化庁「本物の日本文化を体験する観光拠点整備事業(ACEプログラム)」

ACEプログラムに採択

九州で
佐賀だけ

日本を代表する本物の文化を体感できる、
世界レベルの文化観光エリアをつくる事業

唯一無二の歴史を持ち

今なお革新を続けるARITA

17世紀にはヨーロッパへ輸出
国際的なブランドの価値

人間国宝など職人の
卓越した技

訪れる人々と相互に影響を与え合い、新たな文化が生まれる

世界の文化創造拠点へ

Inspire the world ARITA

10年後(2035年)

文化創造拠点

“新たな文化が生まれる”
次世代文化都市として認知

5年後(2030年)

文化交流拠点

世界の感性豊かな人々を惹きつける
“生きたミュージアム”に

佐賀でしかできない

陶磁器文化ツーリズムを創出

1 The Living Museum ARITA Project

町全体を陶磁器文化が肌で感じられる“生きたミュージアム”に

プレミアムな体験コンテンツ造成

名匠が伝える作陶体験

柿右衛門窯

非公開工房プレミアムツアー

その他
九州陶磁文化館の
文化観光ハブ拠点化 など

2 Beyond ARITA Project

“陶磁器×文化体感”で周辺市町への周遊を促進
食と器のマリアージュ

黄金の茶室

ティーツーリズム

【事業期間】 令和7～11年度(予定)

令和7年度

プロジェクト体制の構築、プラン策定、機運醸成を目的としたエリアフォーラム
の開催、欧米をターゲットとした高付加価値ツアー造成 などを実施

ARITAプロジェクトを通じて、SAGAを世界ブランドへ

新規

平和の想い・記憶継承事業

300万円

戦後80年

平和の尊さ と 戦争の記憶 を
未来につなげていくことを誓う年

戦没者慰霊

山口 大津島
回天訓練基地跡沖縄 伊江島
ほうこんのとう
芳魂之塔

貴い犠牲を忘れない
平和な世界を次世代に

戦後80年佐賀県戦没者追悼式

10/8
開催

写真 戦後70周年追悼式

高齢化が進むご遺族の想いに寄り添い
戦後90年を待つことなく開催

さらに
追悼式で「つなぐ」セレモニーを実施



語り部による語り

高校生平和
メッセージ発信ご遺族から高校生へ
平和への想い伝達

など

次世代へ
想いを
つなぐ

戦争の記憶と平和の尊さを学び、伝える
県内の中高生(20名程度)

取材

ご遺族等の 肉声 を
アーカイブ化



追悼式 は、多くの人の
生の声 を聞ける貴重な機会

次世代へ
記憶を
つなぐ

伝える

アーカイブを活用

- ・ 平和関連イベントへの参加
- ・ 「語り部」講演での発信
- ・ 同世代への発信の場の創出



+

戦争の悲惨さ・平和の尊さを認識、自ら発信へ

学ぶ・体感する

- ・ 沖縄県訪問
- ・ 県内戦跡訪問 など

平和への
想い・記憶を
未来へ

学校や企業などへ
戦争の記憶の伝承活動

その他 主なもの

3.6 億円

医療

地域医療構想の推進のための病床機能再編

将来の医療需要に対して、過剰な急性期・慢性期病床の削減や回復期病床の整備を進める医療機関を支援

1.8 億円（基金10/10）

効率的な医療提供体制の確保のための病床数適正化支援

医療需要の急激な変化を受けて、病床数の適正化を進める医療機関を支援

1.6 億円（国庫10/10）

脱炭素

温室効果ガスの削減

再生可能エネルギー・省エネルギー設備を導入する事業者を支援

R7-12 : 12.5 億円（概算）

R7 : 0.2 億円（国庫10/10）